

# 次世代に つなげる森林づくり

平成 27 年 11 月 12 日

★「久万林業祭り」に参加！「シカ困いわな」等をPRする。

◆十月十七(土)、十八日(日)、愛媛県久万高原町において恒例の「久万林業まつり」が開催され、今年も主催者からの要請もあり、「シカ困いわな」の設営、シカ被害の状況・その他技術開発課題のパネル等を展示し紹介をしました。

◆この「久万林業まつり」は、今年で第四十五回を数え、多くの出展・催しコーナーがあり、例年大勢の方々が来場されています。

◆センターの展示内容は、「ニホンシカ被害防除用資材展示」としてパンフなどで紹介してもらっています。会場では、大勢の方が来場され、興味津々と眺めては質問などをしていました。

◆昨年は、「シカよりイノシシ被害が多い」ということで、「イノシシわな」と勘違いされる方が多かったです。今年も町内でも被害が出始めており、皆さんの関心も高く熱心に見学していただきました。二日間にわたり、シカ被害の深刻さの理解を深めると共に、当センターの技術開発に興味を持って頂き、普及につながるかと期待しています。



来訪者興味津々！



会場の看板



質問？ワナの値段は？



パネルの展示

◆平成二十七年 森林総合監理士育成研修事業「技術者育成研修四国ブロック」及び「実践研修四国ブロック」を開催する。

◆将来の森林総合監理士を育成するため、四国ブロックでの「技術者育成研修」及び「実践研修」を実施しました。

◆「技術者育成研修」は、森づくりの理念と循環的な木材生産の基礎的な知識・考え方についての講義を中心とした「中央研修」、構想力を身に付けた「実践研修」を構成しています。

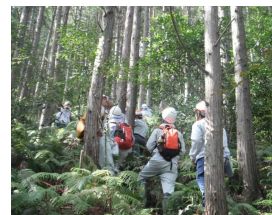
◆今年度は九月二十九日、十月二日の四日間で、研修生は、十八名(県職員十二名、国有林職員五名、法人職員一名)で高知市の「オリエントホテル高知」を主会場に実施しました。



会場内での実務講習



現地で事業計画の構想



森づくり構想実習



局長と研修生の皆さん

◆「実践研修」は、実践的活動に必要な知識・技術の補強を図るため、現地の技術者や関係者を講師として、地域での研修内容等を図る予定です。

◆今年度は、十月二十七日、二十八日、二十九日の三日間で、研修生は、十四名(県職員四名、国有林職員十名)が参加しました。



実践研修・講義の様子



ストックヤードの視察



研修まとめの発表



皆伐事業地の搬出システム



木質バイオマス発電施設



林野庁川島氏との集合写真